



例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南
 住所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX0987-22-9588 会長 竹井崇利

ロータリー親睦活動月間

第 3206 回例会	No.46	2019. 06. 12	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	18 時 30 分 「我等の生業」		
四 つ の テ ス ト	榎木田大資 君		
例 会 行 事	第 65 回創立記念例会 (ホテル丸万)		

会長時間

日南ロータリークラブは今年で創立65周年を迎えました。1954年6月17日に宮崎ロータリークラブをスポンサーとして設立されました。宮崎クラブのスポンサーは大分と神戸です。何故、神戸なのかは、神戸クラブに宮崎出身の橋本修三さんという方がおられて、この方は鐘紡の神戸工場勤務だったそうです。その橋本さんが岩切章太郎さんに設立の話を持ちかけたそうです。大分クラブがスポンサーなのは設立に当たり、宮崎の方々は十分に勉強に行かれていたので大分クラブもスポンサーになっただけです。ちなみに宮崎JCのスポンサーは東京JCです。1951年の創立です。宮崎ロータリークラブ設立の2年前に宮崎JCは創立されました。岩切章太郎さんに東京JCから声がかかりました。宮崎JCの初代理事長は息子さんの岩切省一郎さんです。改めて岩切章太郎さんの人脈の広さにびっくり致します。日本は、1951年サンフランシスコ講和条約によって、アメリカ合衆国をはじめとする連合諸国と日本との間で平和条約が締結されました。これにより連合国は日本国の主権を承認した。そんな時代背景の中にもかわらず、日本が国際社会に復帰した3年後に、日南にロータリークラブを創ろうとされた先輩方の高い志に敬意を表します。先輩方はロータリーの理念に共鳴され、動き出されたのではないかと推察します。だからこそ、今では全国に89,591人のロータリアンそして、2,261のクラブが創立されてきました。

では、その理念とは何か? 「ロータリークラブは団体として奉仕するのは本筋ではないとされてきました。もし団体として奉仕するならば、適材適所で有能な会長を据え置いて、数人のスタッフで継続的に事業をするのが合理的です。役員、委員の1年交代を実施しているのは会員に奉仕の勉強をしてもらいたいからです。ロータリーの寄付行為はそれ自身が目的ではなく、むしろこれを出発点として会員各人に奉仕を奨励し、またその問題に対する地域社会一般の関心を高めて、問題解決へ接近しようとするものです。つまり、ロータリークラブは奉仕をする団体ではなく奉仕する人々の集まりである。」とあります。しかし、時代は変わりました。ロータリーを広報する(情報発信する)ことで、ロータリー活動に共感を持ってもらえば、同じ志を持つ仲間が集まります。地域の理解が得られれば、さまざまな奉仕プロジェクトへの理解や支援も得られます。次年度山口会長は広報チラシを作成の予定です。日南市民に広く広報されることをお願いいたします。例会に出席して自分自身をスキルアップすること、クラブを広報することは車の両輪だと思います。

設立当初からの理念とかけ離れてきているのではないかと思います。例えば、職業分類の制限が廃止されたり、メイクアップが例会定例時の前後2週間が同年度内に変更されたり、会員増強のために規制緩和が進むことは如何なものかと個人的には思います。

これからも日南ロータリークラブの会員そしてクラブは、益々地域社会に貢献できる団体として、行動していかなければならないと思います。

幹事報告

- 1) 6/19 クラブ協議会委員会活動報告書依頼の件

例会行事 第65回創立記念懇親会

今年も、恒例の創立記念懇親会が行われましたが、ことしから、場所を山の上クラブからホテル丸万に変更になりました。



村上君の乾杯の音頭



美味しい「美々鰻」を堪能しました。



次年度山口会長のメ



最後に参加者全員で「ほー」と言って記念写真

今年も楽しい創立記念例会でした。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
前々週 5/29	36	3	33	24	5	2	31	93.93%
今 週	36	2	34	24	1	9	25	73.52%
出席免除	村上、渡邊、古澤							
先々週MU	石崎、石灘、黒岩、桑村、野崎							
先取MU	齋藤(奈)							
欠 席	石崎、菊池、清水、高崎、松尾、宮田、日高、峰松、阿部							

事務局 〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：竹井崇利 副会長：山口秀一 幹事：井野畑善順 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。